

研究所だより

◆自主研究の基礎調査結果が
図書になりました◆

図書名

『農協系統組織再編と独立経済連の位置

— 県域機能は誰が担うのか —

著者 藤田久雄氏

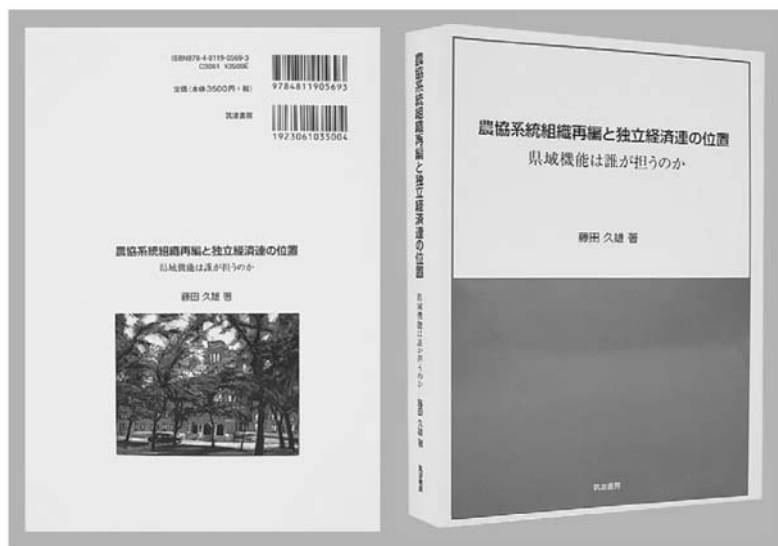
(北海道地域農業研究所元理事長)

出版社 筑波書房

定価 本体 三、五〇〇円＋税

当研究所は二〇二二（平成二四）年から二年を掛けて経済連を存置した府県の中央会・経済連などの農協組織再編問題の基礎調査を実施しました。その後、当研究所の元理事長である藤田久雄氏が県域組織のあり方に関する調査を重ねて二〇一六（平成二八）年に論文「農協系統農協組織再編と経済連の位置」

を発表され、博士号（農学）を取得されました。今般、この博士論文をもとに加筆・修正をした図書が刊行されました。なお、表紙の油絵「北大農学部 夏」は、当研究所の元専務であった大坂雅博氏が描いたものです。



◆研究成果が

指導参考事項に◆

定置式除土積込機等を活用した新たなてん菜輸送体系の能率と経済性を調査した試験の成果が北海道の指導参考事項になりました。

ホクレンてん菜事業本部、道立総合研究機構農業研究本部十勝農業試験場ならびに当研究所の三者のコンソーシアムにより、農研機構生研支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）」の支援を受け実施してきた研究成果が、北海道農業試験会議（成績会議）を経て令和二年度の北海道指導参考事項として採択されましたので、ご案内とともに概要をご報告します。

一．試験成果名

「定置式除土積込機を用いたてんさい輸送体系の能率と経済性」

二．研究の背景及び目的

ヨーロッパでは原料てんさいの搬出と同時に除土を行う除土積込機を活用し、圃場外に持ち出される土砂量を削減し、かつ遊離土砂返還を要さない輸送体系が採用されている。近年、新たな土壌病害虫が発生したことや原料輸送におけるオペレータ確保がより困難となっていることから、トラクタで牽引可能な定置式除土積込機（TR9）の除土能力等を明らかにした上で、除土積込機と専用堆積場とを活用した新たなてんさい輸送体系の原料輸送能力と経済性を明らかにする。

三．成果概要

専用堆積場と定置式除土積込機を組み合わせることで、てんさい輸送時の混入土砂量を九割削減でき、遊離土砂の返還を廃止できる。本輸送体系では、日輸送量は低下し一トン当たり輸送費は増加するが、集荷単位の大型化や二〇トン輸送車の利用によってオペレータ数を削減しつつ、現状に近い輸送費を見込める。



定置式除土積込機（TR9）

四・成果の活用策

遊離土砂を返還させない輸送体系の構築を目的として、地域内で除土積込機の導入、利用を計画する際に活用する。

なお、詳細につきましては、「令和二年度普及奨励ならびに指導参考事項」（北海道農政部編）をご覧くださいですが、当研究所におきましては、今後とも関係機関・団体との連携を図りながら北海道農業の発展に資する研究に取り組んでまいります。



研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

（令和2年1月～3月）

○「第一一六回村づくり・人づくり

冬季報徳研修会」

主催 一般財団法人 北海道報徳社

とき 令和2年1月30日

テーマ 報徳仕法の近代性及び遠軽家庭

学校設立と報徳精神

報告 黒澤 不二男（当研究所・顧問）



人事異動

△新任▽

参与 近藤 好弘

（4月1日付）

編集 後記

◆令和二年度は、
当研究所が一九九〇年に設立されて

から三〇年を迎えます。事業設立当初に比べ、北海道農業、取り巻く環境も大きく変貌してきていますが、今号から、記念特集・特別企画をスタートします。記念特集は、「次の一〇年に向けて」と題して、全国の協力研究員の先生方から北海道農業への提言・メッセージをいただき、一回目は、愛媛大学の板橋教授です。特別企画はレポートのコーナーで、「JAグループ北海道における自己改革について」（JA北海道中央会）です。ご一読願います。

◆今冬の北海道は記録的に降雪も少なく、近年においてはとても穏やかな冬だったで終わると

DATA FILE

関連事項 / DATA

愛媛大学大学院農学研究科
〒790-8566
松山市樽味3丁目5番7号
☎ 089 (946) 9910

横浜国立大学
〒240-8501
横浜市保土ヶ谷区常盤台79番1号
☎ 045 (339) 3014

大妻女子大学
〒102-8357
東京都千代田区三番町12番地（本部）
☎ 03 (5275) 6000

北海道農業協同組合中央会
〒060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1番地
☎ 011 (232) 6405

北海道標茶高等学校
〒088-2313
川上郡標茶町常盤10丁目1
☎ 015 (485) 2001

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
☎ 011 (757) 0022
Fax 011 (757) 3111
HP : <http://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail : office47@chiikinouken.or.jp

思っていたが、突然の新型コロナウィルスの侵入、感染拡大は、道内はもとより、あつという間に日本全国を席卷する事態となった。ちょうど節目の時期に重なったこともあり、卒業式・入学式などの一大記念行事や各種イベントの自粛や中止も相次ぎ、いかんともしがたい判断にシヨックも大きい。春の甲子園も中止

となったが、夏の東京オリンピック・パラリンピックも延期となった。一刻も早い終息宣言が待ち望まれる。

◆新年度となる四月は、進学・就職・人事異動での転勤など、生活も環境も一新する時期でもある。特に新たな場所へ異動する人にとっては、引越しがあ

り、それにかかわる労力も大変だ。また、ここ数年、この時期は繁忙期となるため引越し料金は通常の二倍に跳ね上がる。料金も問題であるが、まじまじしていると、配送車が手配できず引越し難民となる人も出てくるそうだ。「春はあけぼの」などと風流に語れない時代である。

（片岡 省二）